

2025年3月期 第2四半期決算説明

2024年11月8日



目次

連結業績サマリー

第2四半期決算ハイライト

通期業績予想

中期経営計画の進捗情報

＜参考＞ DATA FILE

2025年3月期
第2四半期決算

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

（単位：百万円）

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減	増減率
期首繰越工事高	184,158	239,861	55,702	30.2%
受注工事高	128,523	137,866	9,343	7.3%
完成工事高	91,306	105,591	14,284	15.6%
完成工事総利益	10,483	14,859	4,375	41.7%
完成工事総利益率(%)	11.5%	14.1%	2.6p	—
営業利益	3,031	6,783	3,751	123.7%
営業利益率(%)	3.3%	6.4%	3.1p	—
経常利益	3,595	6,999	3,403	94.7%
経常利益率(%)	3.9%	6.6%	2.7p	—
親会社株主に帰属する中間純利益	2,411	5,454	3,043	126.2%
中間純利益率(%)	2.6%	5.2%	2.5p	—

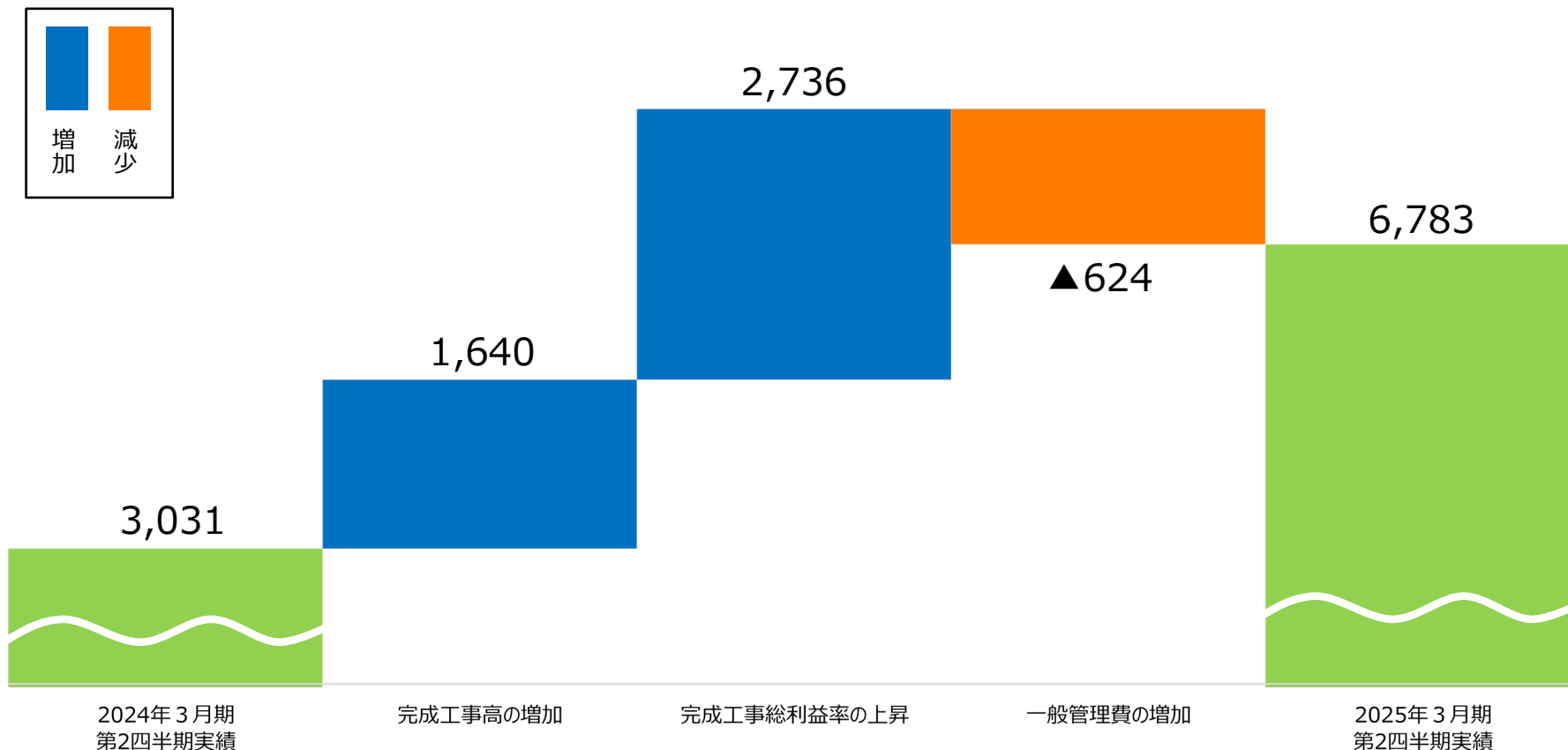
事業環境及び当社の概要

- 受注工事高は、産業施設工事、医療関連施設等を中心に大型工事の受注が確保できたことに加え、リニューアル工事の受注が増加したことで、前期と比べ増加しました。
- 完成工事高は、前期から繰り越した大型の産業施設工事が進捗したことにより増加しました。
- 完成工事利益は、完成工事高の増加及び上記、産業施設工事等の利益改善により、増加しました。

以上の結果、増収増益となり、第2四半期において、受注工事高、完成工事高、営業利益ともに過去最高となりました。

連結営業利益増減の内訳

(単位：百万円)



- 完成工事高は、前期からの豊富な繰越工事が順調に進捗したことにより、増加しました。
- 完成工事総利益率は前ページの通り、上昇しました。
- 一般管理費は「ベースアップに伴う従業員給料の増加」、「現場業務効率化・事務作業効率化等をはじめとするDX投資」等の費用により、増加しました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減	増減率
受注工事高	管工事	104,787	119,428	14,640	14.0%
	電気工事	23,735	18,438	▲5,297	▲22.3%
	合計	128,523	137,866	9,343	7.3%
完成工事高	管工事	77,036	91,974	14,937	19.4%
	電気工事	14,269	13,617	▲652	▲4.6%
	合計	91,306	105,591	14,284	15.6%
繰越工事高	管工事	192,583	239,634	47,050	24.4%
	電気工事	28,791	32,502	3,710	12.9%
	合計	221,375	272,136	50,761	22.9%

- 管工事（空調・衛生工事）

- ✓ 工場、データセンター、医療関連施設などの大型工事を確保し、受注工事高は増加しました。
- ✓ 手持ちの工事は順調に進捗し完成工事高は増加するものの、受注工事高が完成工事高を上回ったことにより、繰越工事高は増加しました。

- 電気工事

- ✓ 前期に大型工事の受注があったことの反動により、受注工事高は減少しました。
- ✓ 前期から繰り越した工事の工期は長く今回は進捗率が低いため、完成工事高は前期と比べ減少しましたが、繰越工事高は増加しました。

連結経営指標等（財政状態）の概要

（単位：百万円）

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	93,987	97,063	3,076	3.3%	利益剰余金の増加
総資産	160,553	180,950	20,397	12.7%	支払条件の変更及び今後の運転資金確保のための借入金の増加
1株当たり純資産（BPS）	2,187.86円	2,257.42円	69.56	3.2%	株価の上昇に伴いPBRが改善 (参考)2024年3月 株価終値：2,491円 2024年9月 株価終値：2,940円
株価純資産倍率（PBR）	1.14倍	1.30倍	－	－	
自己資本比率	58.4%	53.5%	▲4.9p	－	

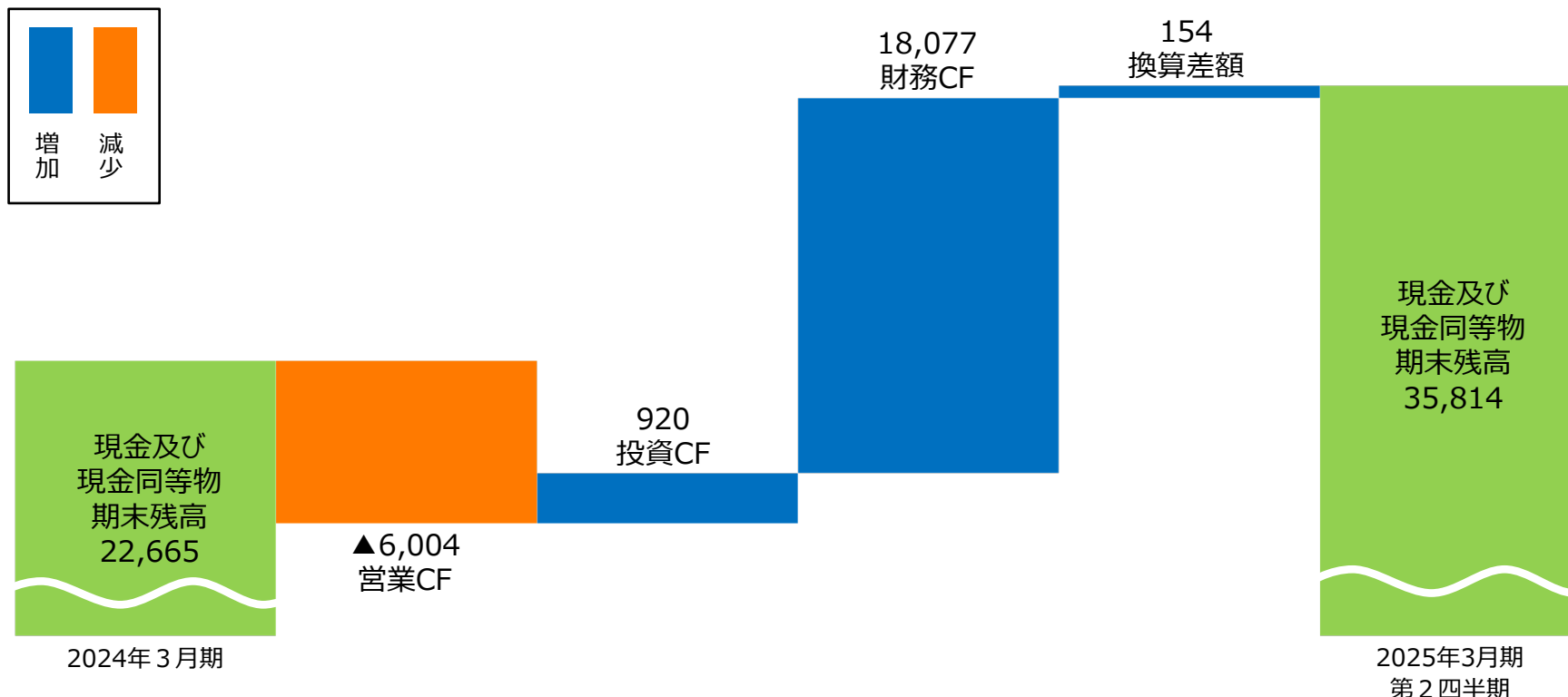
連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

（単位：百万円）

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	▲4,155	▲6,004	▲1,849	－	協力会社に対する支払条件の変更に伴う現金支払いの増加
投資活動によるCF	▲1,695	920	2,615	－	投資有価証券の売却による収入
財務活動によるCF	▲1,540	18,077	19,618	－	支払条件の変更及び今後の運転資金確保のための借入金の増加
現金及び現金同等物の期首残高	25,348	22,665	▲2,682	▲10.6%	
現金及び現金同等物の増減額	▲7,185	13,148	20,334	－	
現金及び現金同等物 中間期末残高	18,162	35,814	17,651	97.2%	

キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）

（単位：百万円）



- 当社は取引先との共存共栄を目指す「パートナーシップ構築宣言」を公表しており、この度、下請中小企業振興法の振興基準に基づき、一部の協力会社に対する支払条件を現金支払とすることとしました（2024/6/20払より）。今後も、取引先との関係強化を進め、サプライチェーン全体で社会的責任を果たすべく、様々な取り組みを推進してまいります。
- 上記に伴い、キャッシュフローの内訳は、営業CF（協力会社に対する支払条件の変更に伴う現金支払いの増加）、投資CF（投資有価証券の売却による収入）、財務CF（支払条件の変更及び今後の運転資金確保のための借入金の増加）それぞれの要因により、増減しております。
- なお、上記借入とは別に、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメントライン契約を締結しております。

2025年3月期
第2四半期決算

第2四半期決算 ハイライト

リニューアル・直接工事の状況

(単位：百万円)

	2024年3月期			2025年3月期	前年同期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
リニューアル工事	41,737	42,259	83,997	51,628	9,891	23.7%
リニューアル比率(%)	32.5%	33.9%	33.2%	37.4%	5.0p	—
大・中規模 の改修工事	18,626	19,286	37,912	25,286	6,660	35.8%
小規模 の改修工事	23,111	22,972	46,084	26,341	3,230	14.0%
新築工事	86,785	82,351	169,137	86,238	▲547	▲0.6%
受注工事高合計	128,523	124,610	253,134	137,866	9,343	7.3%
うち、直接受注	49,358	67,030	116,389	73,259	23,900	48.4%
直接比率(%)	38.4%	53.8%	46.0%	53.1%	14.7p	—

- リニューアル工事の受注は、件数は横ばいですが、受注環境の好転により、前期と比べ増加しました。
- 新築工事の受注は、期首の計画通りに推移し、前期と同水準となりました。
- 直接受注は、半導体工場、医療関連施設及び海外の研究施設等の大規模案件の受注により、増加しました。

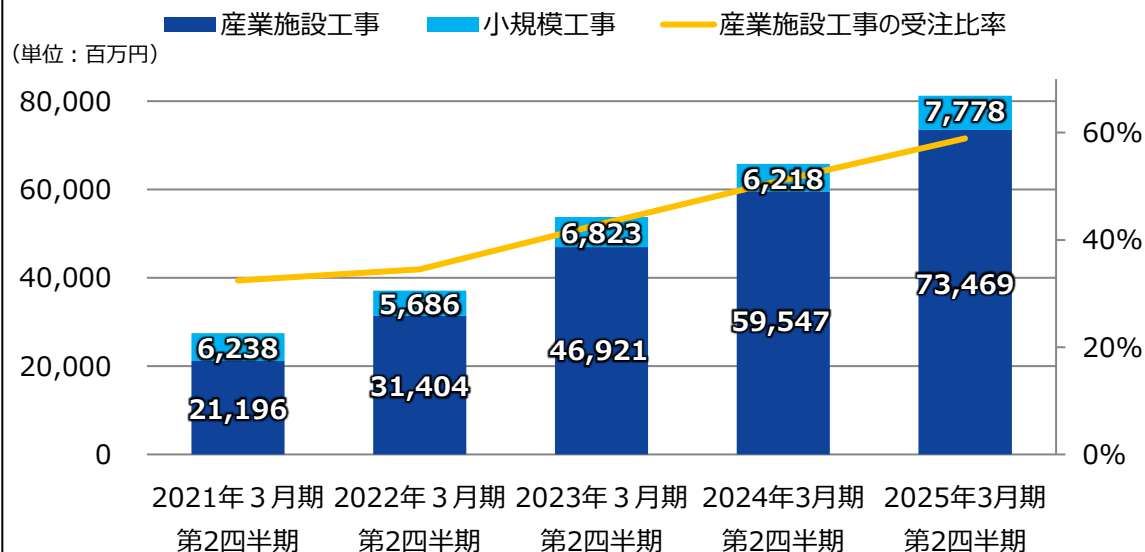
産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2024年3月期			2025年3月期	前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
産業施設工事合計	65,764	79,439	145,203	81,246	15,482	23.5%
(受注比率%)	51.2%	63.7%	57.4%	58.9%	7.8p	—
受注工事高合計	128,523	124,610	253,134	137,866	9,343	7.3%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しています。

産業施設工事の受注工事高の推移



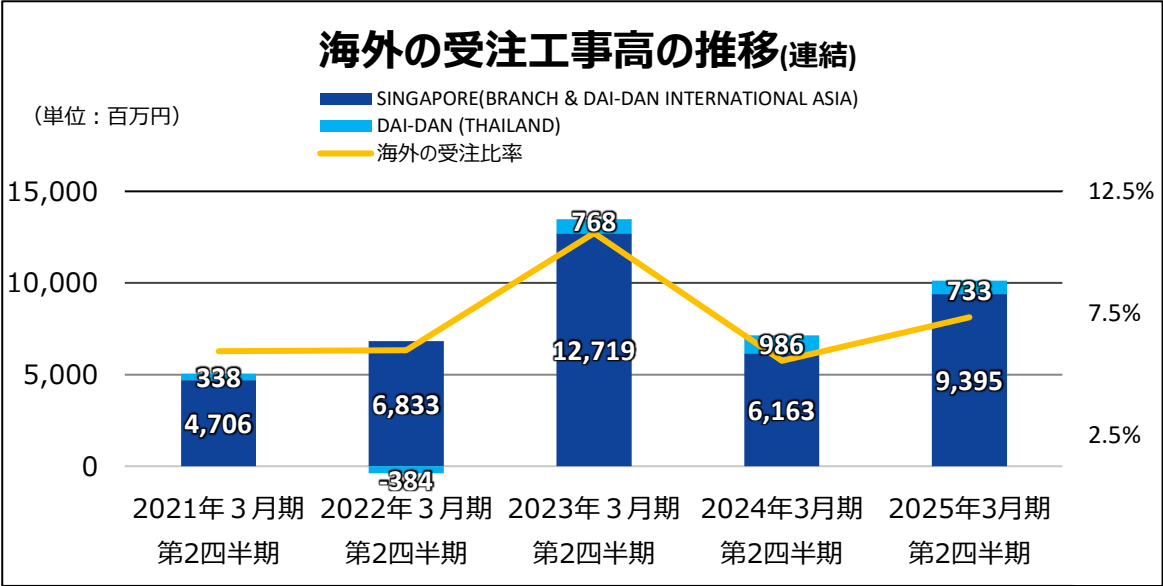
- 産業施設工事の受注工事高は、半導体工場やデータセンター等の受注により、過去最高となりました。
- 受注比率は、前期と比べ7.8pt増の58.9%となりました。

海外事業の状況

- 海外事業は、シンガポール（支店、及びDAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.）、タイ（DAI-DAN (THAILAND) Co.,LTD.）、ベトナム（DAI-DAN (VIETNAM) Co.,LTD.（非連結））及び台湾（台湾大暖股份有限公司（非連結））を拠点に活動しています。
- 2024年10月1日、シンガポールのPresico社（Presico Engineering Pte.Ltd.）の発行済株式のうち30%を追加取得し、議決権行使比率は40.0%から70.0%となりました。これにより同社を今期第3四半期より連結子会社といたしました。

（単位：百万円）

	2024年3月期			2025年3月期	前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	7,149	10,277	17,426	10,128	2,978	41.7%
（受注比率%）	5.6%	8.2%	6.9%	7.3%	1.8p	—
受注工事高合計	128,523	124,610	253,134	137,866	9,343	7.3%

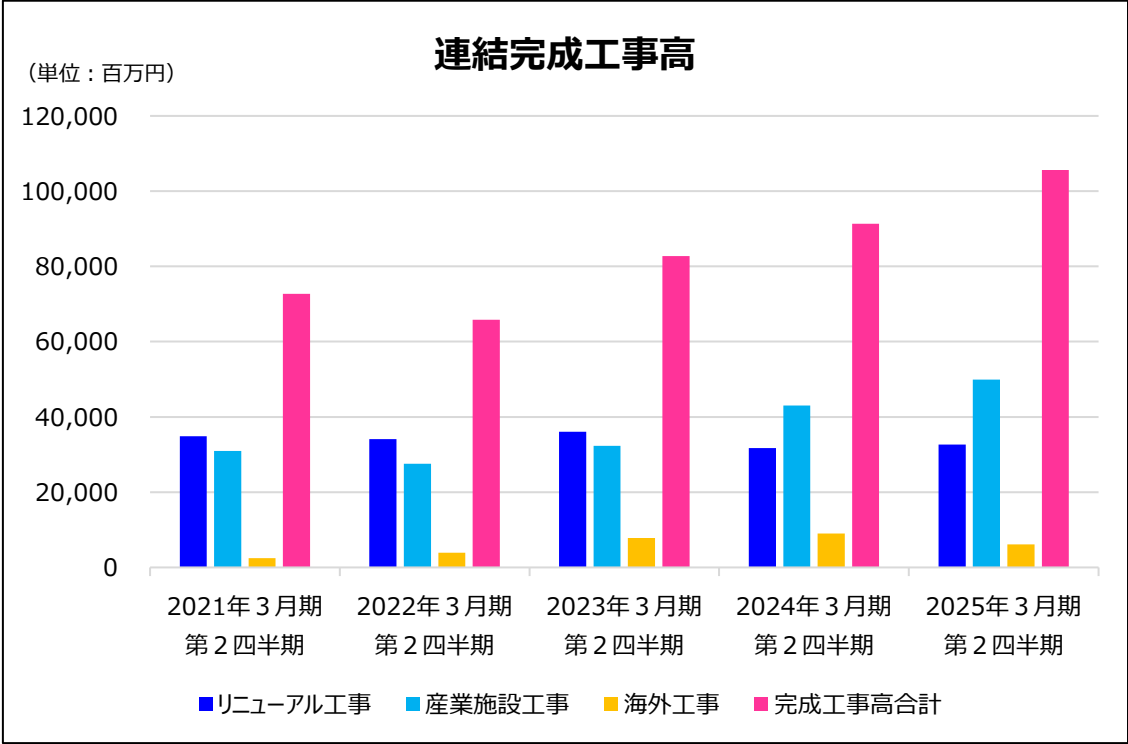


- シンガポールは、大型プロジェクトの研究施設の受注により、前期と比べ増加しました。
- 上記の結果、受注工事は前期と比べ、2,978百万円増の10,128百万円となりました。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第2四半期		2025年3月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	91,306	100.0%	105,591	100.0%	14,284	15.6%
うち (リニューアル工事)	31,698	34.7%	32,684	31.0%	986	3.1%
(産業施設工事)	42,983	47.1%	49,903	47.3%	6,920	16.1%
(海外工事)	9,040	9.9%	6,117	5.8%	▲2,922	▲32.3%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

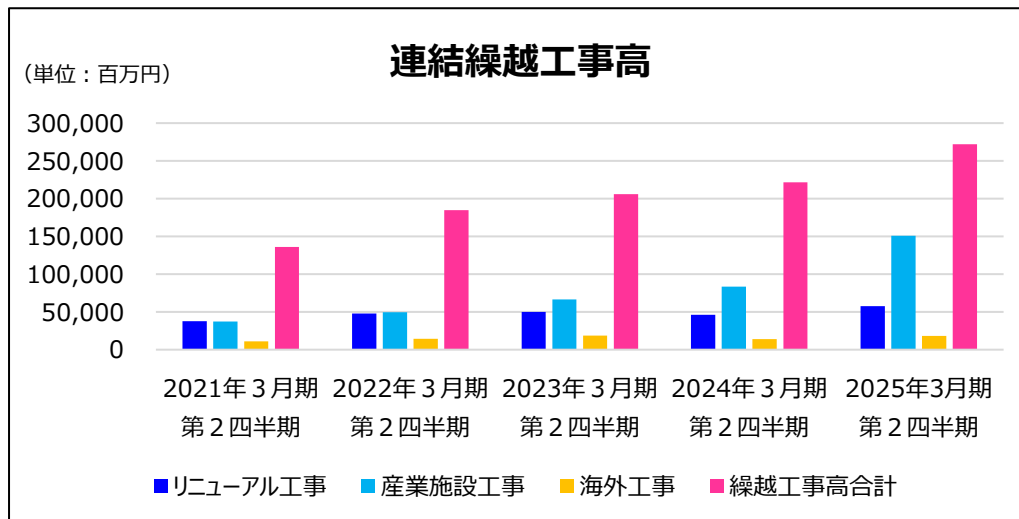


- 産業施設工事は、工場やデータセンターの大型工事が進捗したことにより、大幅に増加しました。
- 上記の他、医療関連施設等の大型工事も進捗し、大幅に増加しました。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第2四半期		2025年3月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	184,158	—	239,861	—	55,702	30.2%
受注工事高	128,523	—	137,866	—	9,343	7.3%
完成工事高	91,306	—	105,591	—	14,284	15.6%
繰越工事高	221,375	100.0%	272,136	100.0%	50,761	22.9%
うち (リニューアル工事)	46,341	20.9%	57,473	21.1%	11,132	24.0%
(産業施設工事)	83,348	37.7%	150,836	55.4%	67,488	81.0%
(海外工事)	14,105	6.4%	18,411	6.8%	4,305	30.5%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 当期の繰越工事高は、前年下半期の大型の産業施設工事の受注を受け、前期と比べ大幅に増加しました。
- 産業施設工事を中心に、今後の出来高に寄与する手持ち工事を豊富に抱えております。

(単位：百万円)

		2024年3月期	2025年3月期	増減	増減率
受注工事高	4～6月	67,005	74,864	7,859	11.7%
	7～9月	61,518	63,001	1,483	2.4%
	4～9月	128,523	137,866	9,343	7.3%
完成工事高	4～6月	40,731	44,325	3,593	8.8%
	7～9月	50,574	61,266	10,691	21.1%
	4～9月	91,306	105,591	14,284	15.6%
営業利益	4～6月	691	1,725	1,033	149.4%
	7～9月	2,340	5,058	2,717	116.2%
	4～9月	3,031	6,783	3,751	123.7%

2025年3月期
第2四半期決算

2025年3月期
通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2024年3月期			2025年3月期				前期比 通期		【参考】 通期予想比 進捗率 (上半期/今回予想)
	上半期	下半期	通期	通期 (前回予想)	上半期	下半期 (予想)	通期 (今回予想)	増減	増減率	
受注工事高	128,523	124,611	253,134	250,000	137,866	122,134	260,000	6,866	2.7%	53.0%
完成工事高	91,306	106,125	197,431	250,000	105,591	144,409	250,000	52,569	26.6%	42.2%
完成工事総利益	10,483	15,734	26,217	33,000	14,859	20,641	35,500	9,283	35.4%	41.9%
完成工事総利益率(%)	11.5%	14.8%	13.3%	13.2%	14.1%	14.3%	14.2%	0.9p	—	—
営業利益	3,031	7,846	10,877	15,000	6,783	10,717	17,500	6,623	60.9%	38.8%
営業利益率(%)	3.3%	7.4%	5.5%	6.0%	6.4%	7.4%	7.0%	1.5p	—	—
経常利益	3,595	8,323	11,918	15,300	6,999	10,801	17,800	5,882	49.4%	39.3%
経常利益率(%)	3.9%	7.8%	6.0%	6.1%	6.6%	7.5%	7.1%	1.1p	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,411	6,676	9,087	11,000	5,454	7,546	13,000	3,913	43.1%	42.0%
当期純利益率(%)	2.6%	6.3%	4.6%	4.4%	5.2%	5.2%	5.2%	0.6p	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	—	—	10.3%	11.3%	—	—	12.5%	2.2p	—	—

業績予想の前提

- 受注工事高は、2024年10月1日付で取得した海外の連結子会社の受注等を勘案し、10,000百万円増の260,000百万円となる見通しです。
- 完成工事総利益は、手持ち工事の利益改善が期首の想定より上振れる見込みであることなどにより、2,500百万円増の35,500百万円となる見通しです。完成工事総利益の増加を受け営業利益も2,500百万円増の17,500百万円となる見通しです。
- 完成工事高は、直近の公表から変更はありません。

株主還元に対する方針

- 当社は、健全な財務体質の構築に努めると共に、経営上の最重要施策である株主への利益還元を進めてまいります。
- 2024年5月9日発表の「Stage2030中期経営計画 Phase2《磨くステージ》」の通り、さらなる利益還元及びより安定的な配当政策を進めるため、2025年3月期より「**配当性向40%以上かつ純資産配当率（DOE）4%を下限とすること**」を新たな配当方針としております。
（前中計比+5pt） （今中計より新規設定）
- 上記方針に基づき、2025年3月期の業績見通しが直近の配当予想公表時における予想値を上回ること等を勘案し、期末配当金を前回発表の普通株式1株につき普通配当52円から19円引き上げ71円とし、この結果、年間配当金を104円から123円に修正いたします。

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	※ 27.50	48.00	75.50	3,246	35.6%	3.7%
2025年3月期（予想）	52.00	71.00	123.00	5,289	40.5%	5.0%

※当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「2024年3月期 第2四半期末配当金」を算定しております。

2025年3月期
第2四半期決算

中期経営計画の 進捗状況

＜磨くステージ＞ 2025年3月期～2027年3月期

- 長期ビジョン2030に向け、グループ総合力を強化する《磨くステージ》です。
- 『空間価値創造企業』を目指し、広くお客さまに価値を届けていきます。

《磨くステージ》 経営方針

人材戦略を基盤とした人づくりの実現により企業価値を高める

事業領域

空調衛生工事

電気工事

海外事業

再生医療事業

収益の基盤と
する事業

変革する
事業

成長する
事業

新たな収益源
とする事業

	実績	目標（2024年5月発表）		
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
連結売上高	1974億円	2500億円	2500億円	2600億円
連結営業利益	108億円	150億円 ▼ 175億円*	150億円	160億円
ROE	10.3%	10%以上 ▼ 12.5%*	10%以上	10%以上

*2024年11月8日付「2025年3月期業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」による
次年度以降の目標は今期末時点の経済情勢・経営環境を踏まえて検討

- 継続的な人材育成と採用強化を通じて、「人づくり」を実現

従業員エンゲージメントの向上

- 「共有する価値観」に基づく行動・成果も評価に加味する新たな人事評価制度を来期より導入し、従業員エンゲージメントの向上と企業理念の実現を図る

従業員の処遇改善

- 2024年4月に定期昇給を含め5%のベースアップを実施
- 士気向上・長期勤続の促進を図るべく2024年4月より新卒初任給の引き上げおよび若年層社員の給料引き上げを実施

人材マネジメント方針に基づく社員ローテーションプランの制度化

- 複数部門の経験を通じた全社最適での課題解決能力を持つ人材を育成するため、ローテーションプランを策定し、来期より運用開始する

研修制度の見直し

- 研修体制と内容を見直し、従業員のキャリアアップを支援する

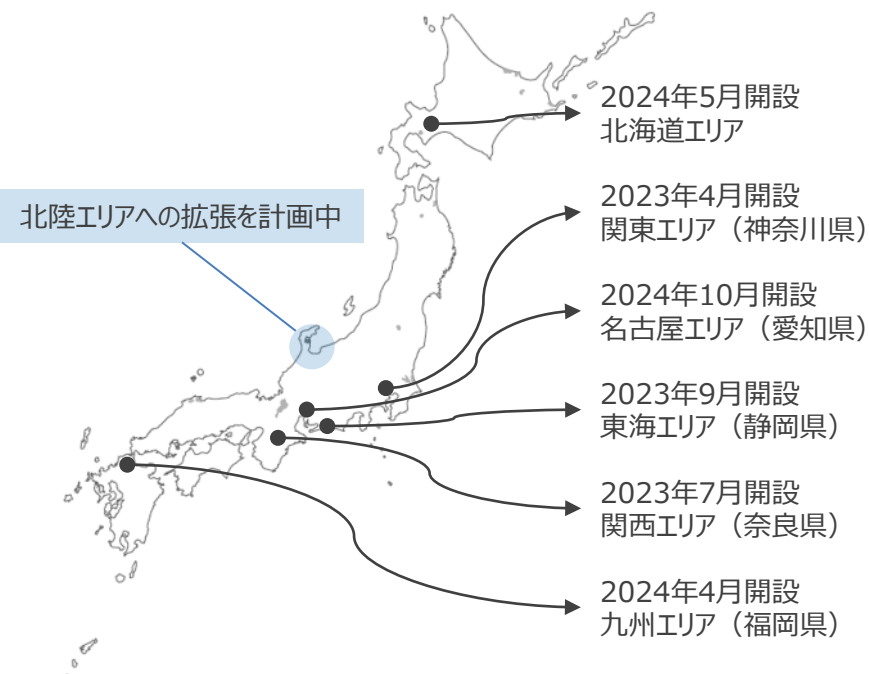
新卒採用の状況

- 直近5年、毎年80人から100人強の新卒採用を実現
- 内定受諾率向上を狙ったリクルーター制度の導入、仕事体験などの各種イベント回数の増設、学生および保護者の認知度向上を目指した広告宣伝強化等により採用強化を継続
- 既存の電気技術者のリファラルを通じて、大学・高専・電気系の専門学校からの採用チャネルを拡大することで電気工事業業の変革に繋げる

- 配管加工によるプレハブ化、ユニット化のためのオフサイト施設の拡充と活用の拡大を促進

国土交通省「働き方改革の実現に向けた効率的な建設工事の促進事業」に係るモデル事業に採択されました

- オフサイト施設(生産拠点)による現場作業工数、運搬車両の削減と工程の短縮
- 大手町駅第7空調機械室更新工事におけるオフサイト施設(生産拠点)による加工工数と材料運搬車両台数の低減



オフサイト施設活用によるメリット

- 加工管メーカーの繁忙度に左右されずタイムリーな搬入が可能
- 現場工数の削減及び加工管ストックにより、現場作業の標準化及び工程のズレに柔軟に対応
- 配管加工の端材をストックし、再利用する事で、材料費を削減
- 配管技能士試験 実地試験講習会開催により、協力会社育成に寄与

関東エリア（神奈川県川崎市）オフサイト施設



施設の稼働状況



配管フレア加工



全自動バンドソー（配管切断機）

関西エリア（奈良県天理市）オフサイト施設



施設外観

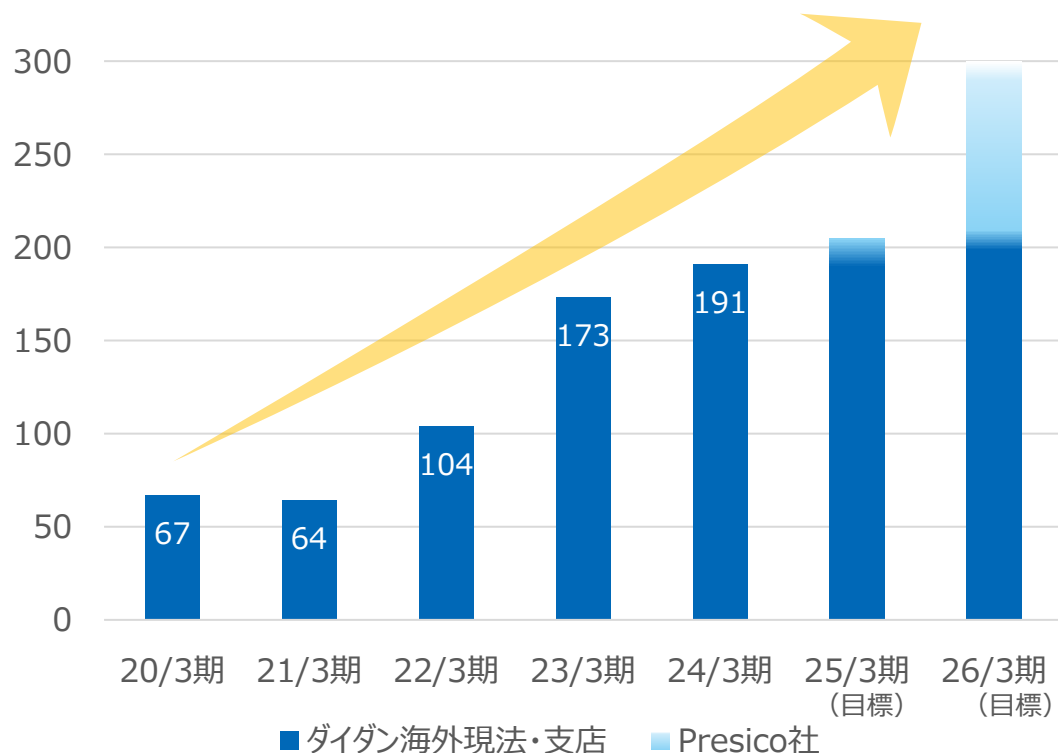


搬出される加工済み空調室外機ユニット

- シンガポールを中心にタイ・ベトナム・台湾で事業を展開
- 磨くステージでも海外事業の拡大を加速
- 建設需要が旺盛なシンガポールにおいて、設備工事会社Presico社を連結子会社化

海外事業の売上高

単位：億円



Presico社 企業概要

名称	■ Presico Engineering Pte. Ltd.
事業内容	■ 電気設備工事・機械設備工事 他
売上高	■ 約90 百万シンガポールドル (2023年12月期)
備考	■ ダイダンの株式保有割合：70% ✓ 2023年2月28日付で発行済株式40%、 2024年10月1日付で30%を取得

- 細胞培養環境を構築する技術（ハード）を出発点に細胞製造受託事業（ソフト）へ進出

これまでの取り組み

● 細胞培養環境向けシステム・ユニットの販売

- － 当社の気流技術を基に、従来より安価で便利な培養環境を実現するシステムやユニットを販売
- － 省スペース・短期間でクリーン環境を構築できるAIOを展開

※AIO：当社開発のコンパクトな細胞製造用クリーンユニット

● 細胞製剤製造受託事業

- － 再生医療企業の事業化フェーズ（開発～治験）に合わせて細胞製造を受託
- － グループ会社内のCPFにて再生医療等製品製造業許可を取得し、再生医療企業から治験段階の細胞製造を受託

✓ セラボヘルスケアサービス株式会社

再生医療事業を専門とする当社グループ会社

✓ 難治性小児固形がん治験薬製造の受託

✓ 研究用途に用いられる細胞製造のための検討培養の受託

本中計の展望

● 機器販売の更なる拡大

- － 新規顧客向けの営業・広報を強化
- － グループ会社の組織体制・拠点を強化

ハード

設備



当社施設の細胞培養ユニットにて
小規模製造向けクリーン環境を提供

ソフト

製造支援&人材育成



当社スタッフがマンツーマンで
製造ノウハウを教育



▲ 治験薬製造サポートサービス「ふらっとAIO」

● 細胞製剤製造受託事業の本格化

- － 治験薬製造受託を通じたノウハウ獲得
- － 製造能力の増強
- － 製造できる細胞治療薬の範囲拡大
- － 治験薬製造サポートサービスの提供

＜参考＞

DATA FILE

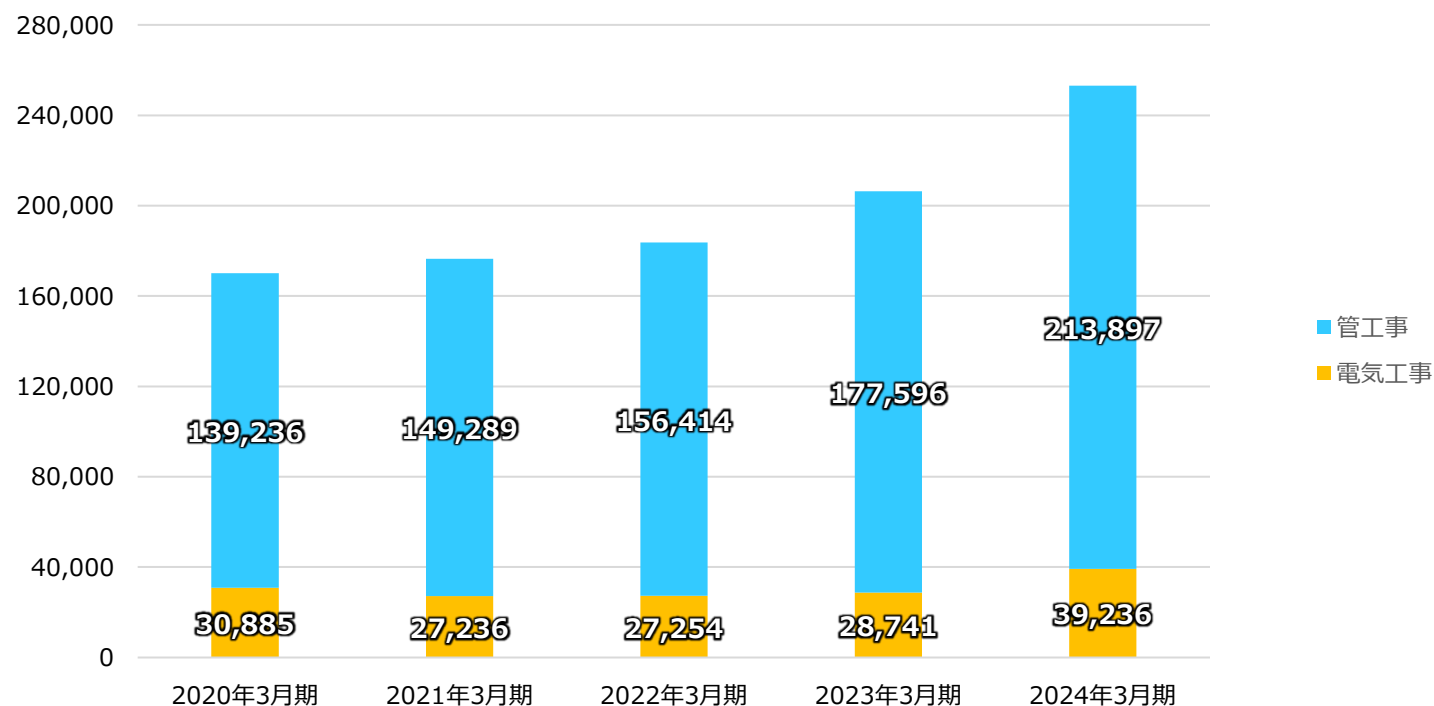
〔通期・第2四半期〕

（単位：百万円）

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
管工事	139,236	149,289	156,414	177,596	213,897
電気工事	30,885	27,236	27,254	28,741	39,236
合計	170,121	176,526	183,668	206,337	253,134

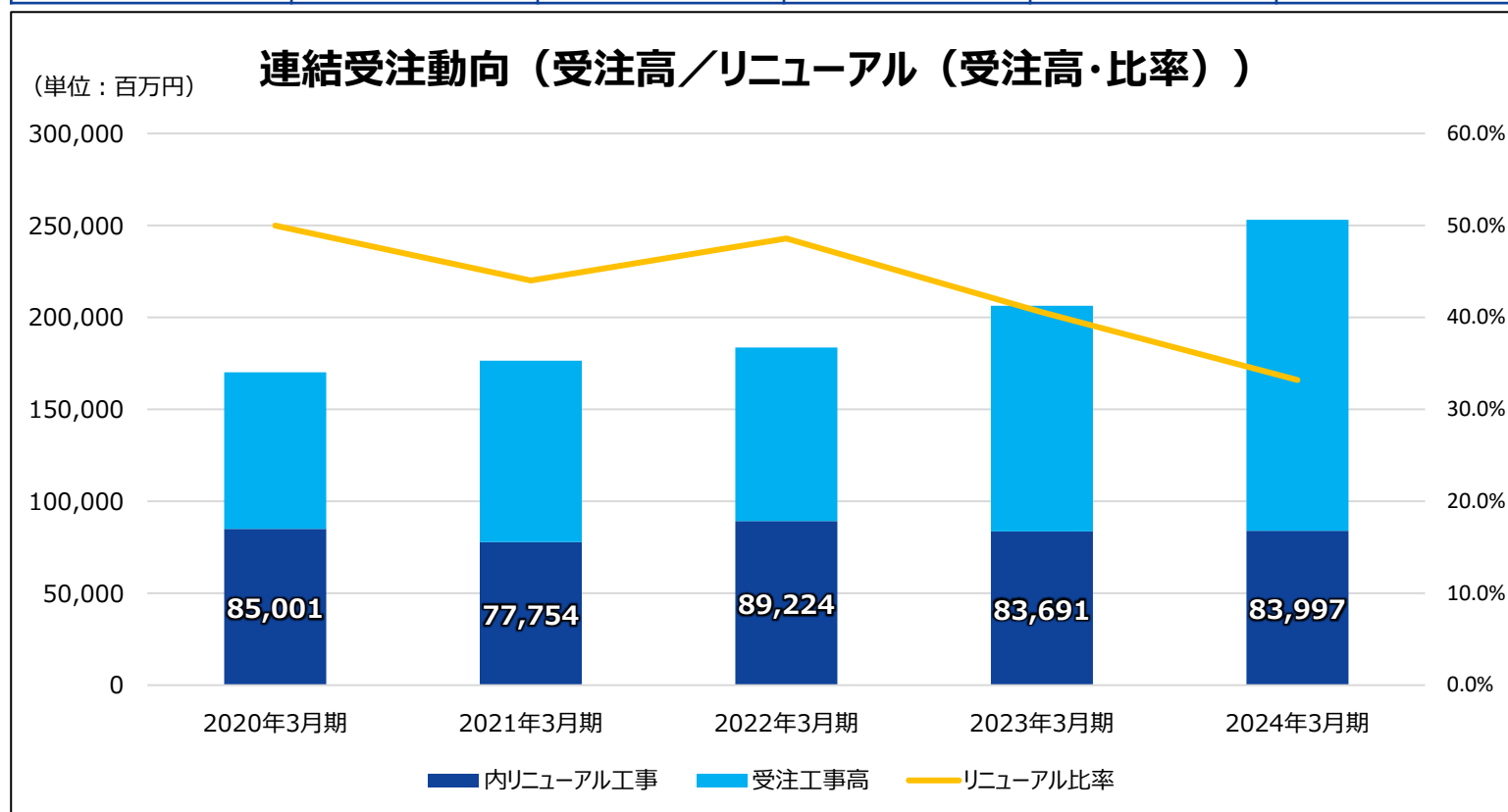
（単位：百万円）

連結受注工事高（工種別）

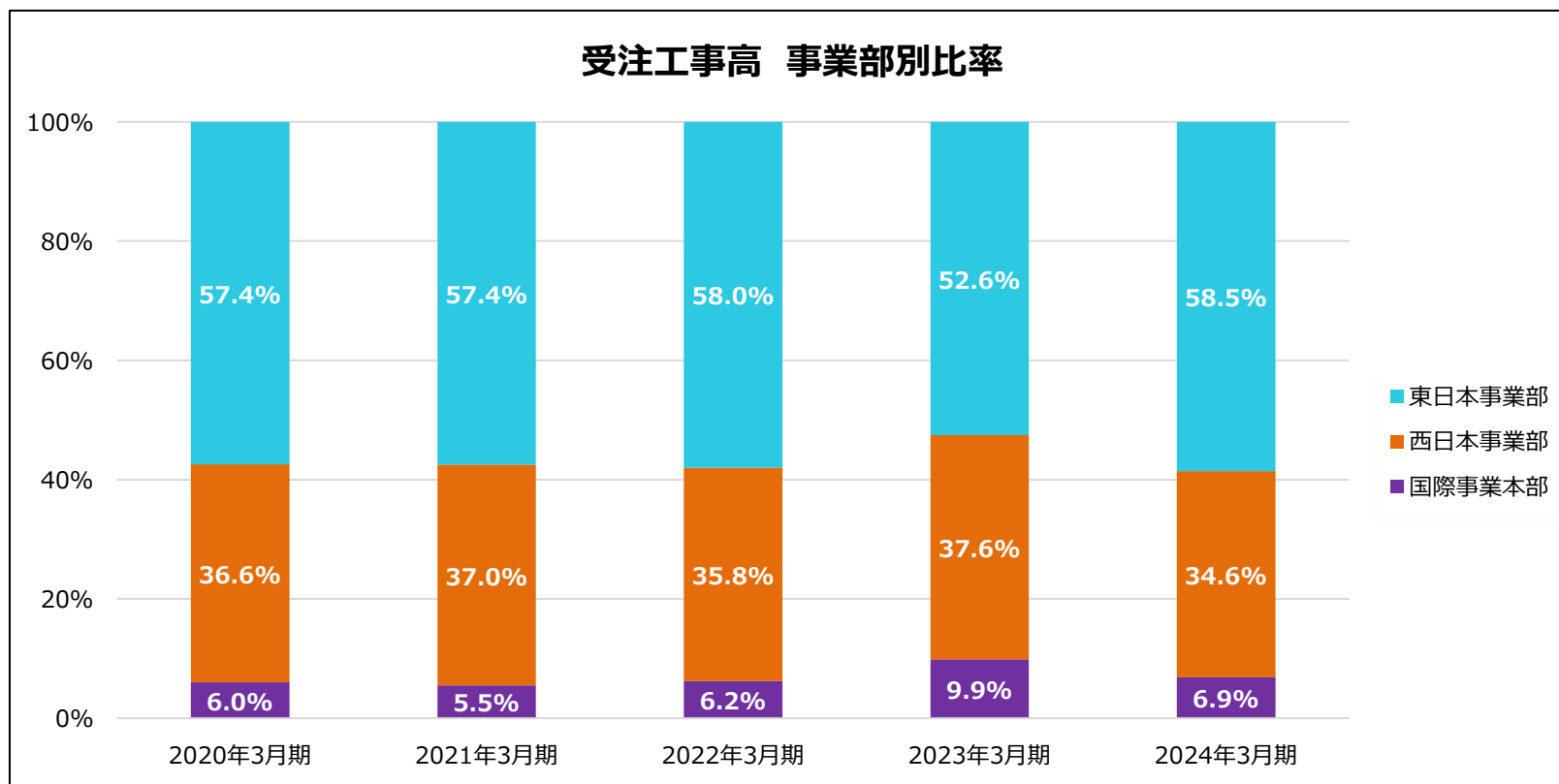


（単位：百万円）

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
受注工事高	170,121	176,526	183,668	206,337	253,134
リニューアル工事	85,001	77,754	89,224	83,691	83,997
リニューアル比率	50.0%	44.0%	48.6%	40.6%	33.2%

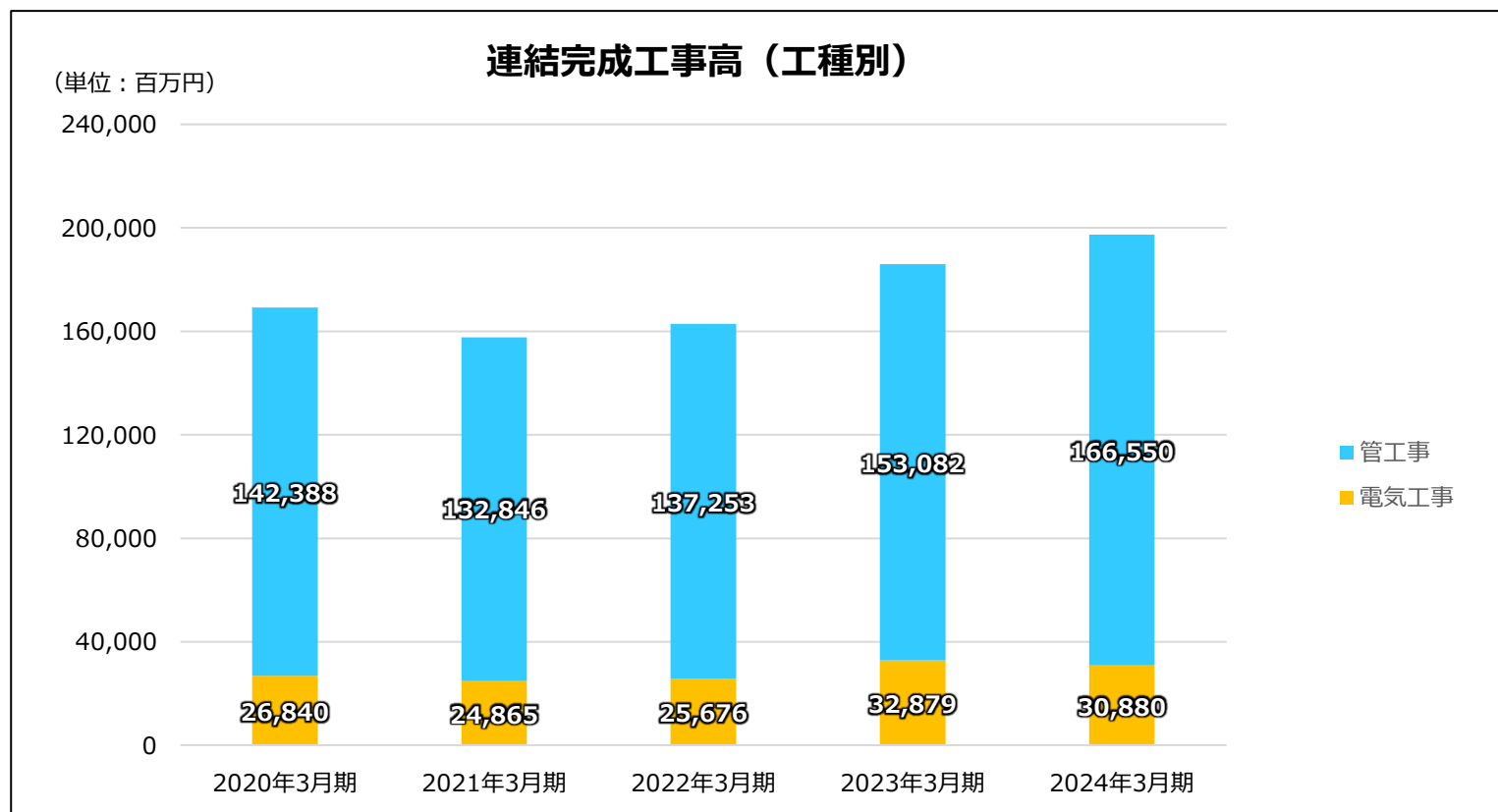


	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
東日本事業部	57.4%	57.4%	58.0%	52.6%	58.5%
西日本事業部	36.6%	37.0%	35.8%	37.6%	34.6%
国際事業本部	6.0%	5.5%	6.2%	9.9%	6.9%

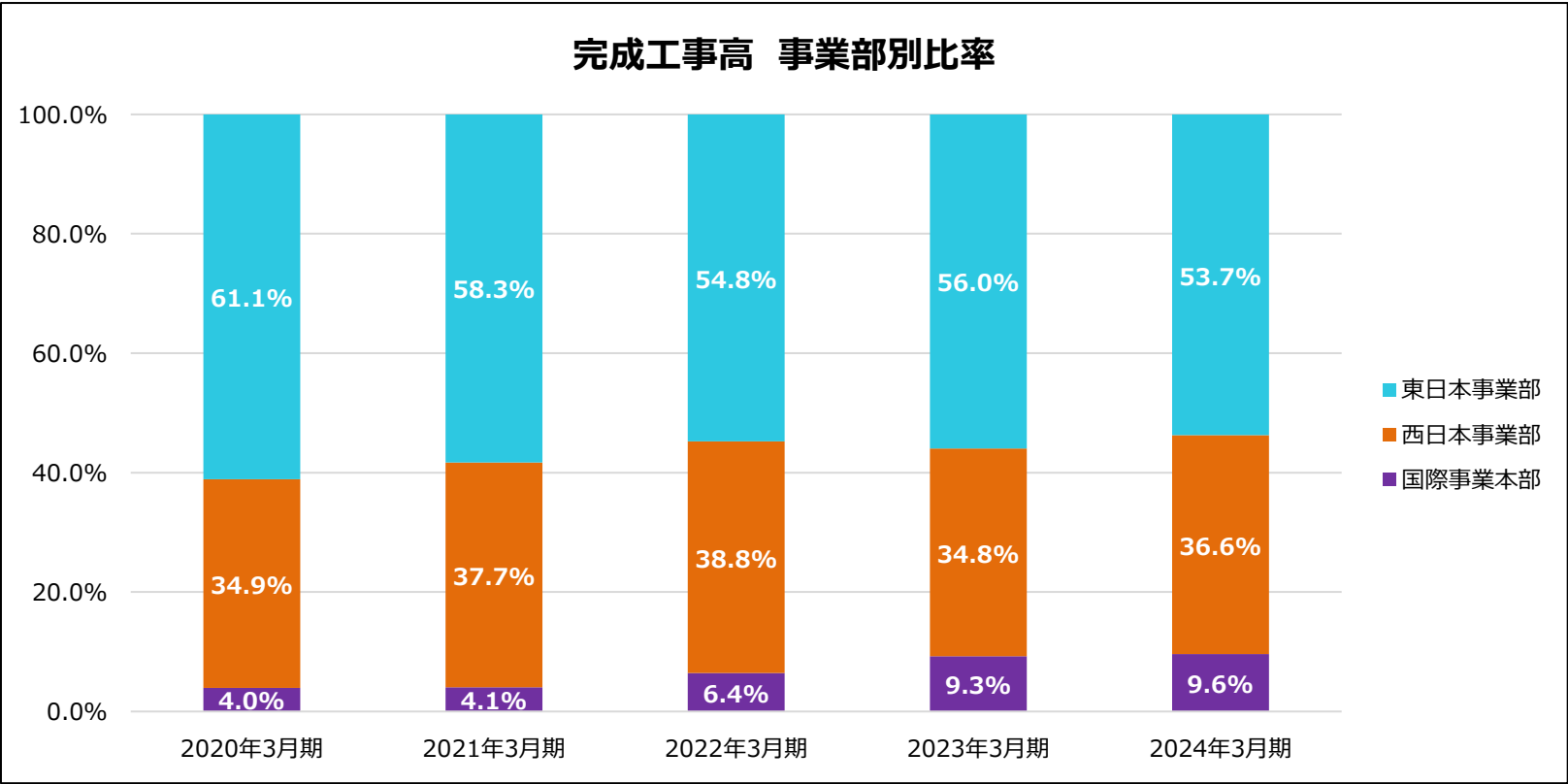


（単位：百万円）

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
管工事	142,388	132,846	137,253	153,082	166,550
電気工事	26,840	24,865	25,676	32,879	30,880
合計	169,229	157,712	162,929	185,961	197,431



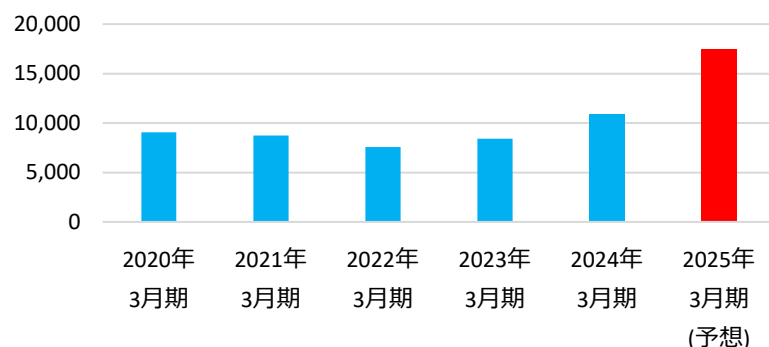
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
東日本事業部	61.1%	58.3%	54.8%	56.0%	53.7%
西日本事業部	34.9%	37.7%	38.8%	34.8%	36.6%
国際事業本部	4.0%	4.1%	6.4%	9.3%	9.6%



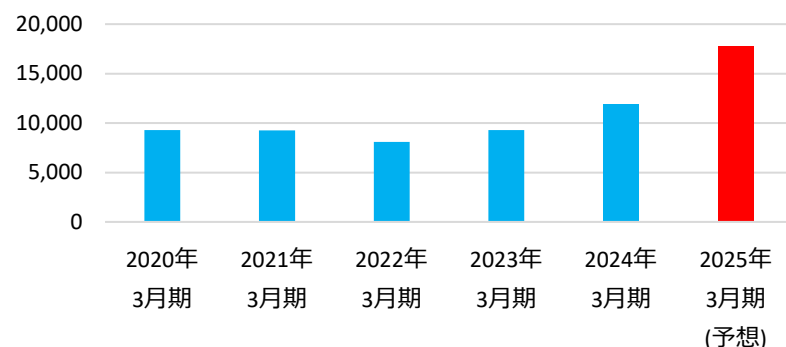
（単位：百万円）

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
営業利益	9,063	8,754	7,584	8,428	10,877	17,500
経常利益	9,282	9,262	8,095	9,288	11,918	17,800
当期純利益	6,399	6,318	5,778	6,626	9,087	13,000

営業利益

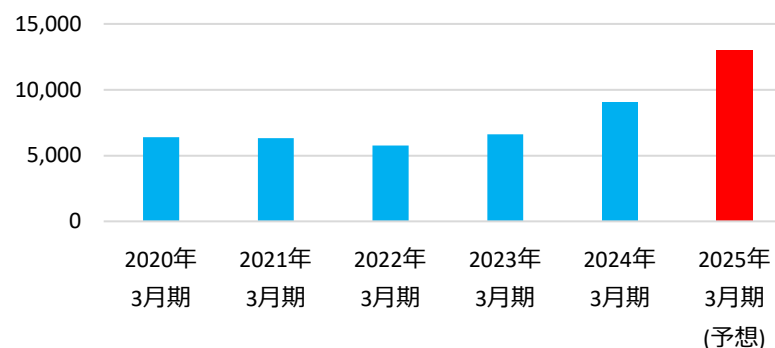


経常利益



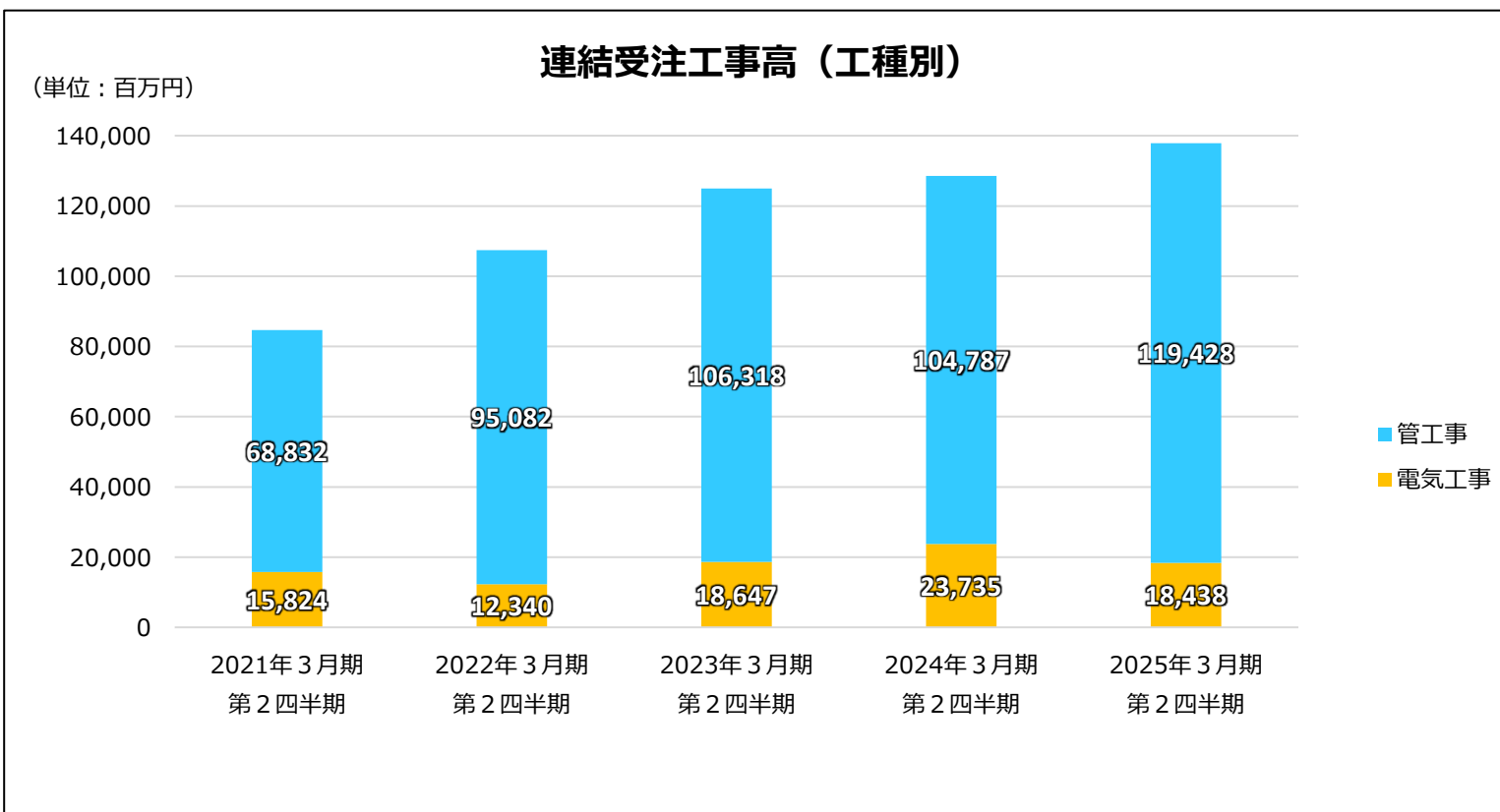
当期純利益

（単位：百万円）



（単位：百万円）

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期
管工事	68,832	95,082	106,318	104,787	119,428
電気工事	15,824	12,340	18,647	23,735	18,438
合計	84,656	107,423	124,966	128,523	137,866

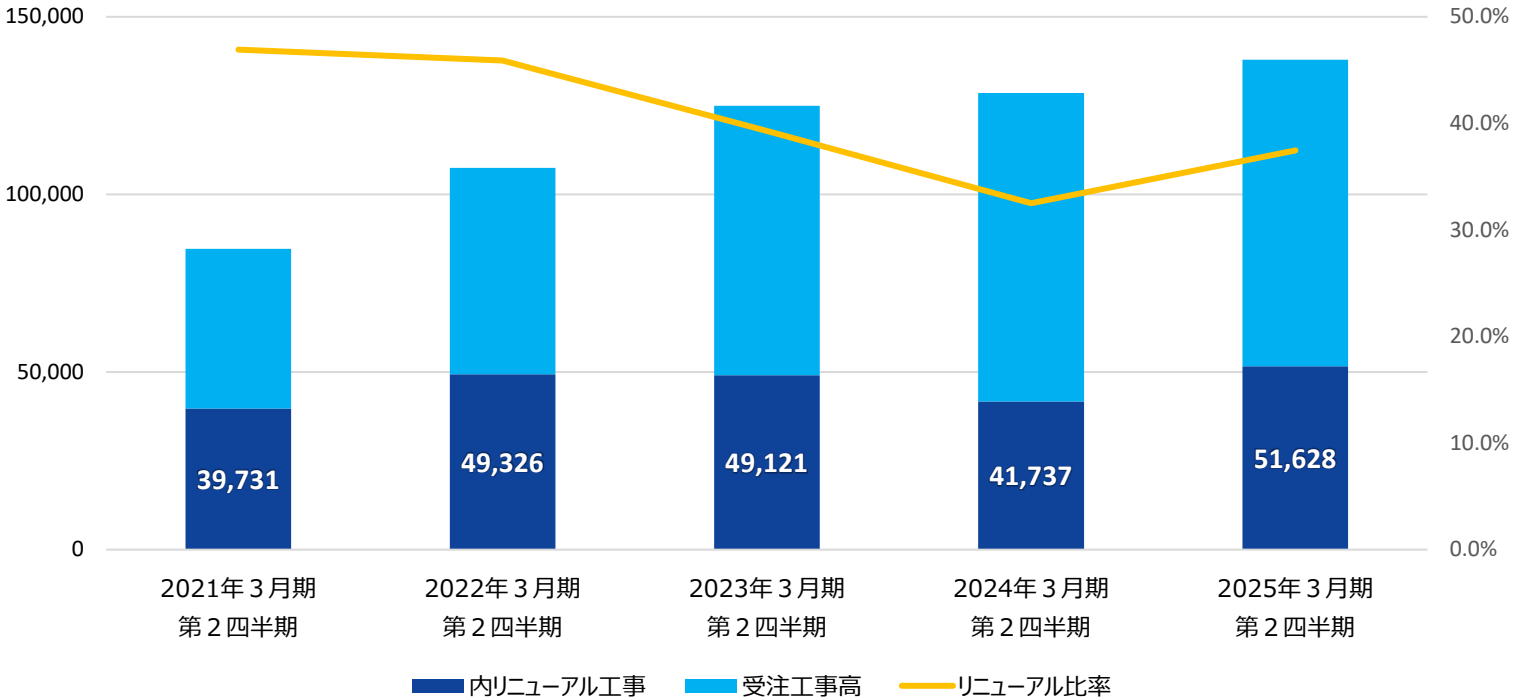


(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期
受注工事高	84,656	107,423	124,966	128,523	137,866
リニューアル工事	39,731	49,326	49,121	41,737	51,628
リニューアル比率	46.9%	45.9%	39.3%	32.5%	37.4%

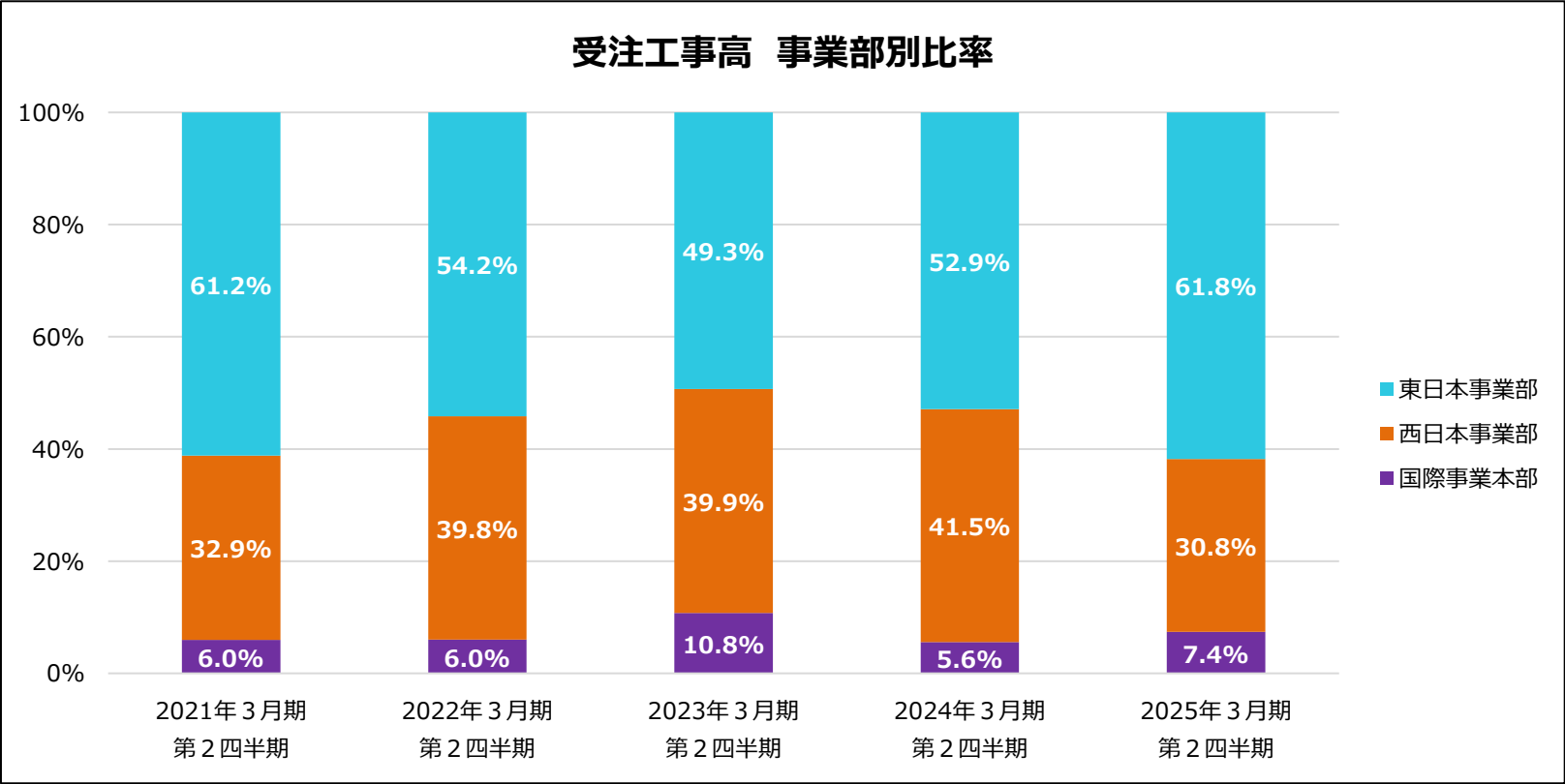
(単位：百万円)

連結受注動向（受注高／リニューアル（受注高・比率））



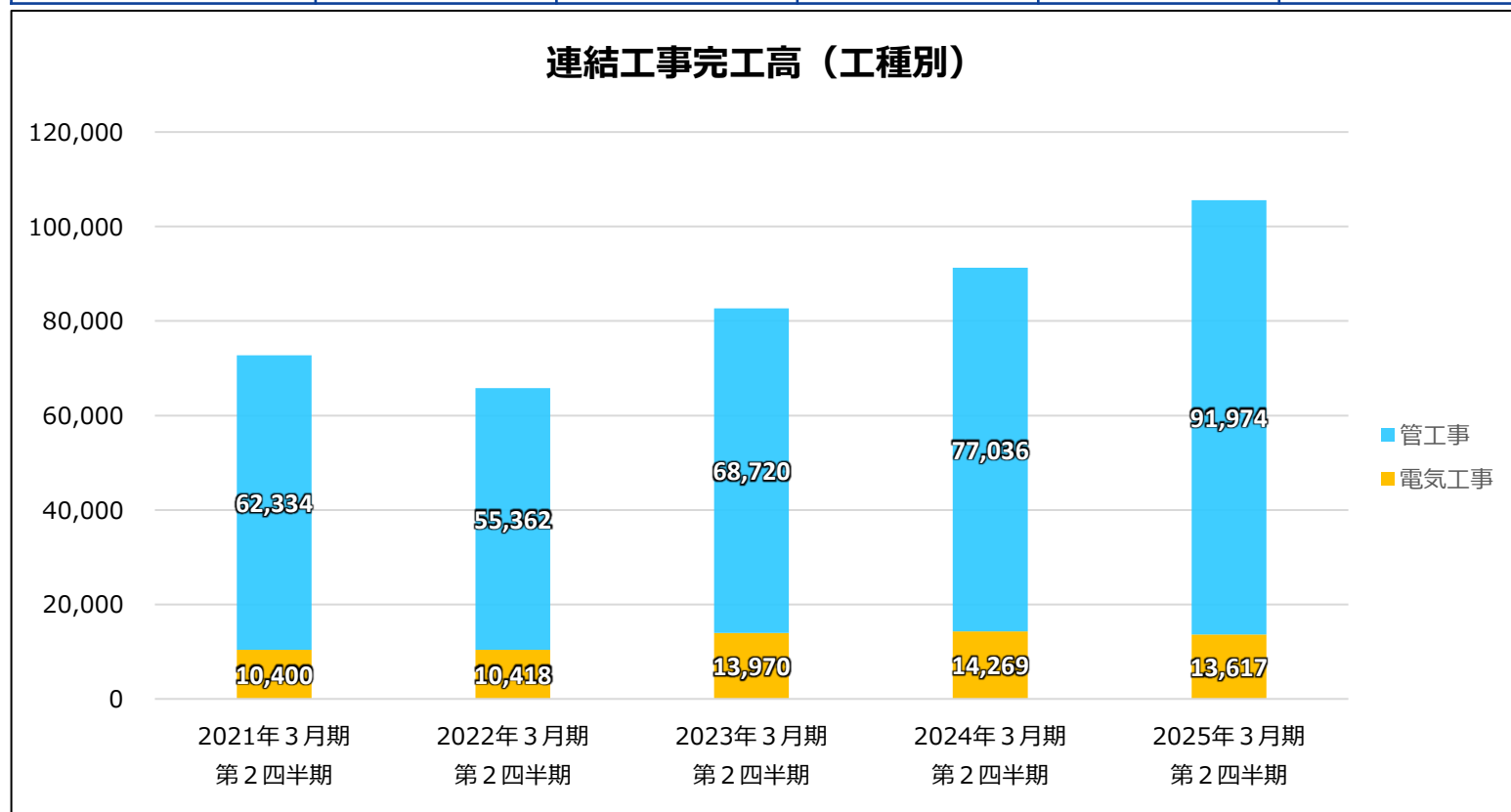
受注工事高比率

	2021年 3 月期 第 2 四半期	2022年 3 月期 第 2 四半期	2023年 3 月期 第 2 四半期	2024年 3 月期 第 2 四半期	2025年 3 月期 第 2 四半期
東日本事業部	61.2%	54.2%	49.3%	52.9%	61.8%
西日本事業部	32.9%	39.8%	39.9%	41.5%	30.8%
国際事業本部	6.0%	6.0%	10.8%	5.6%	7.4%



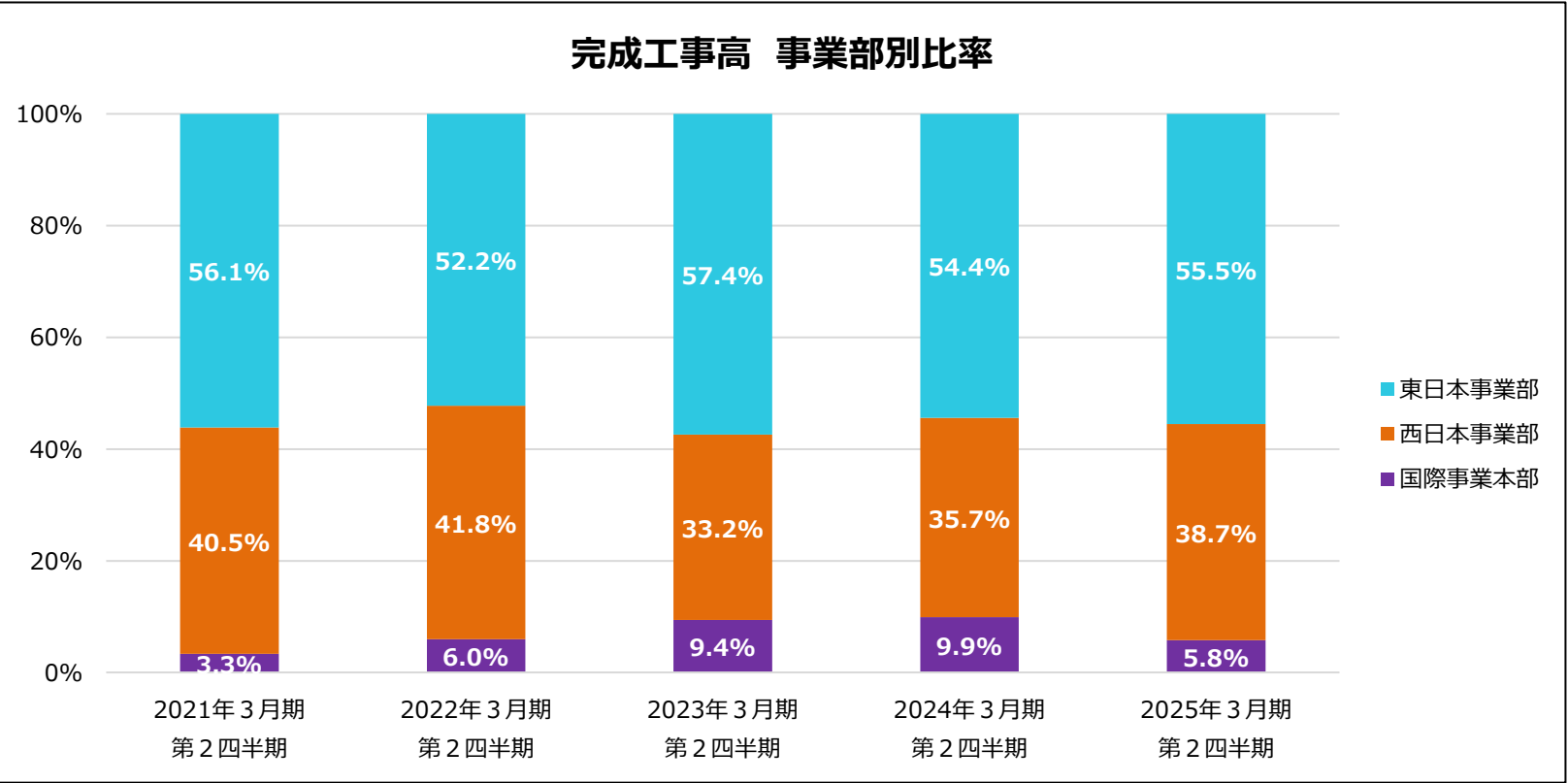
（単位：百万円）

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期
管工事	62,334	55,362	68,720	77,036	91,974
電気工事	10,400	10,418	13,970	14,269	13,617
合計	72,734	65,780	82,690	91,306	105,591



完成工事高比率

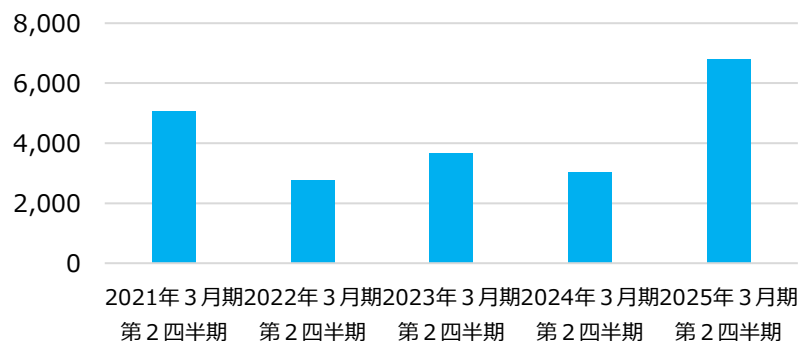
	2021年 3 月期 第 2 四半期	2022年 3 月期 第 2 四半期	2023年 3 月期 第 2 四半期	2024年 3 月期 第 2 四半期	2025年 3 月期 第 2 四半期
東日本事業部	56.1%	52.2%	57.4%	54.4%	55.5%
西日本事業部	40.5%	41.8%	33.2%	35.7%	38.7%
国際事業本部	3.3%	6.0%	9.4%	9.9%	5.8%



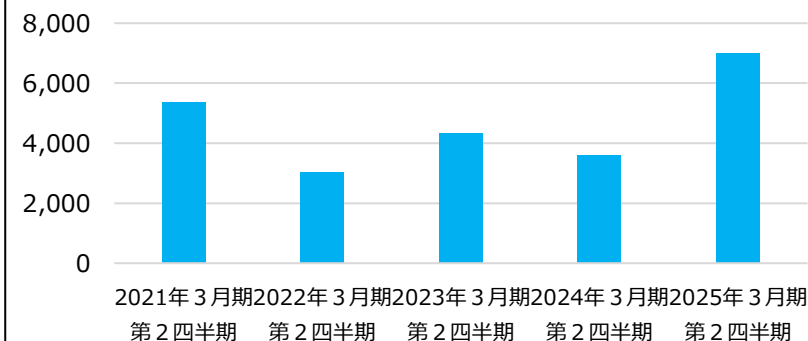
（単位：百万円）

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期
営業利益	5,070	2,768	3,650	3,031	6,783
経常利益	5,366	3,044	4,330	3,595	6,999
中間純利益	3,654	2,077	3,045	2,411	5,454

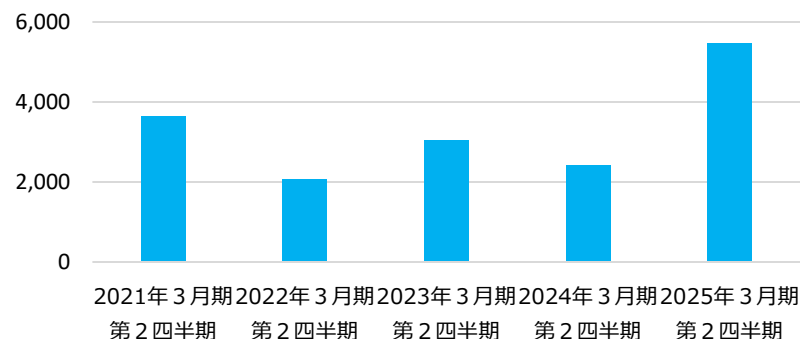
営業利益



経常利益



中間純利益



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10